

とよつだより

第 2 2 号

平成23年3月1日発行

—編集・発行—

豊津地区まちづくり委員会

(広報記録専門部)

熱戦！かるた大会

一月三十日、豊津まちづくりセンターで「第六回とよつかるた大会」が開催されました。

寒い日が続く中でしたが、この日ばかりは幸いにも小春日和となり、地域の方々が多数参加しました。

参加者は、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部の他、一般の部、シニアの部に分かれ、それぞれに熱戦が繰り広げられました。

かるた大会の後には、餅つきが行われ、つきたてのお餅をみんなでいただきました。最初は室内で食べる予定でしたが、暖かな天気でしたので、急きよ外で食べることにになり、より一層おいしく感じられたのではないのでしょうか。

事前の準備から当日の運営まで役員さんにご苦労されたことと存じますが、おかげで楽しく過ごせた一日でした。



● 幼児の部



1位 浅間 梓名ちゃん

● 小学校低学年の部



1位 額賀 寛未さん
2位 長岡 涼太くん
3位 藤枝 元輝くん

【優勝者の感想】

「うれしかったです」

● 小学校中学年の部



1位 藤城 歩夢 君
2位 君和田 潤貴 君
3位 君和田 睦ちゃん 武 君

【優勝者の感想】

「うれしいです。来年も連続優勝を目指すぞ」

● 小学校高学年の部



1位 藤枝 健太郎 君
2位 郡司 遙佳さん
3位 高橋 瑠名さん

【優勝者の感想】

「1回目はあまりとれなかったけど、2回目ではばんかいできてよかった。」

● 一般の部



1位 伏見 文さん
(市教育委員長)
2位 長岡 陽子さん
3位 根本 美穂さん

● シニアの部



1位 君和田 美智子さん
2位 齊藤 幸子さん
3位 黒須 はるさん 藤城 まささん

【優勝者の感想】

「二連勝です。どうもありがとうございました。来年もがんばります。」

レッツウォーキング

(新田かぐら)

♪新春ウォーキングでパクパク♪

スポーツ健康づくり部では、健康づくりと地域の伝統芸能を知るため、今年度は「夕涼みウォーキング」(八月一日、爪木・八朔祭の見学)、「東京ウォーキング」(九月二十六日、隅田川界隈・浅草散策)を実施してきました。そして一月二十三日には「新春ウォーキング」として、『新田かぐら』の見学を行いました。

『新田かぐら』は、「とよつかるた」や「鹿嶋市文化財愛護かるた」にも詠まれており、鹿島神宮御船祭の露払いとして行列の先導を務めるなど、地域に馴染みの伝統芸能ですが、実際に皆さんはご覧になったことがありますか？

今回のウォーキングは、新田の地藏院までと距離は短かったのですが、地藏院では新田区の若い皆さんによる祭頭囃しや立派な雌雄の獅子頭に頭を咬んでもらうサービスもあり、参加者はとても楽しく、そして有意義な時間を過ごしました。その後、悪疫退散・家内安全を祈って区内の家々を回る様子を見学しました。

参加者の中には、「新田かぐらを初めて見た」という方もいましたが、雌雄のかぐらに頭を咬まれると厄除けや家内安全のご利益があるとのことから、今年もいい一年になるといいですね。

新田区の皆さん、ありがとうございます。そして、これからもこの素晴らしい地域の伝統芸能を守っていただきたいと思います。



豊津地区高齢者移動研修

(十一月十一日)

秋晴れの中、参加者四十七名で西蓮寺(玉造)、茨城空港、アサヒビール守谷工場見学に行ってきました。西蓮寺では、静寂の中、紅葉はまだでしたが、大銀杏と重要文化財の仁王門、相輪塔を見て、参加者から「荘厳でよかった」との声が聞かれました。茨城空港では、神戸行きの飛行機を見送りながら、まだまだ元気でいてこの空港を利用して旅行したいと思った方々も多かった事と思います。守谷のレストランで昼食をとり、その後、ビール工場を見学しました。見学後は、出来立てのビールをいただきながら参加者の交流に話が盛り上がりしました。まだまだ元気な高齢者パワーに圧倒されながら、あらためて健康の大切さを認識した一日でした。



第十五回とよつまつり 開催♪

十一月七日、秋晴れの穏やかな日に「とよつまつり」が行われました。芸能発表では、楽器演奏やカラオケ、踊りと盛り沢山で、小学生男児による心が洗われる様な歌声や、ALTによる日本舞踊など、見事な出し物が多数ありました。また、館内では素晴らしい作品が多数展示されており、来館者を楽しませていました。この日は天候にも恵まれ、大勢の人で賑わい、豊津住民のパワーで溢れた一日でした。



フィルムケースとストローで「ピーピー笛」を作りました
(おもしろ理科先生)



～芸能発表のひとつ～
演じるのは、豊津小で英語を指導しているイタリア人
(ベラトラニ・エマヌエル)



楽学セミナーパソコン教室 ～年賀状作りに挑戦～

(十一月十三日、二十日)

●参加者の声

かわら版「そよかぜ」で、『年賀状作りに挑戦』を発見。もう年賀状の時期なんだなと思いつつ、『参加費100円』に財布は反応した。民間だったら一回二千円位は払うのに安い。早速申し込んだ。でも、年賀状は手書きの温かみがあつていいなあと感じつつ、パソコンも便利だしいい機会だと思い、初日に挑戦。テキストにより講師からパソコンの操作、はがき入力、イラストの取り入れ方等を教わり、二日目は宛名住所入力、印刷の仕方などバッチリ(?)出来た。講習は無事終了楽しかった。しかし、二日～三日経ってから自宅でやってみたら途中でストップ。先に進まない。今年の年賀状は・・・と覚悟。また機会があれば参加したいです。講師、そしてセンター職員の皆さん、有難うございました。(坂本昌巳)



男の料理教室～移動研修～

(十一月二十九日、二十八人参加)

今年の移動研修は、東京築地市場と場外市場を視察しました。市場のセリは終了してしまつたので、各仲卸店を見学しましたが、通路を走る専用車がひっきりなしに猛スピードで走っているため、危ない目にも遭いました。店舗数や関連店、規模の大きさには驚きましたが、かなり老朽化しており、建て替え時期という都知事の話を感じました。市場と同じで場外にも色々な店舗があり、何を買っていいか解らなくなりましたが、普段買わないお父さん達には、いい目の保養になりました。その後は、銀杏並木が綺麗な神宮通りを通過して明治神宮の参詣、そして新設された羽田空港国際線ターミナルビルの見学など、楽しい一日を満喫しました。



<< 感謝 >>

大船津第一区の根本区長さんから、豊津まちづくりセンターに、ソフトボール用具一式を戴きました。ありがとうございました。



煙モクモク焼き鳥屋さん
は、今年も人気でした
(男の料理)



大正末期の様子



昭和初期の様子

とよつかるためぐり シリーズ⑧
一の鳥居より初詣
鹿島神宮一の鳥居は、東西南北に四つあり、「四至門」と言われていた。大船津にある一の鳥居は、西の鳥居にあたる。※東は明石、南は深芝、北は角折(神戸原)にある。
記録によれば、元禄二年(一六八九)、初代が建てられ、その後、何度か建て直されており、現在の鳥居は平成二年(一九九〇)に建てられた八代目(高さ・六・六五m)となる。ここ、大船津は鹿嶋の玄関口であり、船着場として発達し、延方・地藏河岸や千葉県の木下・佐原の間にも船便が開かれ、北浦を上下する船舶は必ず大船津に立ち寄ったと言われている。もちろん、鹿島神宮への参詣者は、まずこの鳥居から鹿島詣をしたのは言うまでもない。
※鳥居は神明鳥居といって、柱と笠木は円形、貫(ぬき)は角型でその端は柱の外に貫き出ている。鹿島神宮の鳥居はその代表である。



◆広報委員のつぶやき◆

春は別れ、そして出会いの季節といいますが、我が家でも手塩にかけたかわいい娘が遠方に旅立ち、寂しくなつてしまつた今日この頃です。これからは、今まで以上に夫婦仲良くしていかなければならないなと考えています。これからの楽しみは、「初孫との出会い」。孫に喜んでもらえるようにお小遣いを貯めていこう!